

女子 都市大塩尻創部2年目初制覇

女子は東京都市大塩尻が2-0のストレートで松商学園との中信対決を制し、創部2年目でうれしい初優勝。サーブとネット幅いっぱいに使った速いバレーボール県高校新人大会
最終日(23日 松本美須ヶ丘高ほか)
ぶりの優勝。男女とも上位4校が2月11日から富山県で開催される北信越大会へ出場する。

＜東京都市大塩尻・松商学園＞初優勝に笑顔を見せる東京都市大塩尻



松商学園を圧倒

▽女子決勝
東京都市大塩尻 2(25-25 11-18)0 松商学園

細萱琴子(1年)のレフトからの強打が松商コートに突き刺さった瞬間、都市大塩尻のメンバーに晴れやかな笑顔が広がった。県大会全5試合を2-0のストレートで快勝。創部2年目で初めて県女王の座に就いた。第1セットは13-12まで競ったが、小坂亜未(2年)のライト攻撃から差を広げ、25-18で先取。

全5戦ストレート勝ち

降旗実可(2年)、松尾奈津子(1年)らのジャンプローターサーブが走り出した第2セットは細萱、小宮山彩未(1年)のプロードなど速い攻撃で圧倒。20-11から5点連取で松商学園に完勝した。創設時から率いる岡田隆安監督(61)は「勝つことはいいいこと。子どもたちの自信になる」と目を細めた。墨坂中、裾花中を率いて全中制覇4度の名将は定年退職後、県バレー界で唯一全国優勝と縁のない高校女子の指導に転身。元イトーヨーカドー監督の鈴木定一ととともに新たな夢に懸けた。

部員は現在14人。全国出場経験のない者がほとんどながら順調に力をつけてきた。昨秋の春高県予選は決勝で東海大三に敗れたものの1セットを奪い、存在感を示した。創部時から主将の小坂は「目標がかなったんでうれしい。ここからがスタート。もっと全国で戦えるチームになっていかないと。北信越も気を抜かないで優勝したい」。中学全日本組ら有望株も多数入学予定。日本一への挑戦に弾みがつくタイトル奪取となった。
(高地 浩志)